

市政懇談会(桜樹公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年7月17日(日)13:30~14:50

参加者：49名(市民 34名、職員 15名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
1	・市道上落合線の通行止めがかなり長くなっているが、着手完成の時期はいつ頃になるのか。	<p>【建設部長】</p> <p>・昨年、市道上落合線の川側手の路側が崩壊し、県との協議もあり少し時間がかかりましたが、7月末に業者を決めて契約し、8月のお盆過ぎの着工を目指して準備する予定としています。工期は9月末までで、10月のお祭りには通行できるようにする予定です。</p>	—	・丹原総合支所
2	・鞍瀬小学校跡が緊急避難場所になっているが、大雨の時などは融通してもらって、中に入ることはいできないのか。また、公民館を避難場所にはできないか。	<p>【市民安全部長】</p> <p>・現在この地域では、緊急避難場所として鞍瀬小駐車場、臼坂ちびっ子広場等を指定しており、指定避難所として桜樹公民館を指定させていただいております。緊急避難場所は災害が起きた時に一時的に避難する場所で、指定避難所は災害が落ち着いた後、家が危険で帰れない人が短期間生活をする場所です。市内のどこの避難場所、避難所も同じですが、災害の種類によって避難所に入れない場合もあるので、その際はケースバイケースで避難する場所を選択する必要があります。普段から、災害の種類によってどこに逃げるか、地域で話し合っていたら大変ありがたいと考えております。</p> <p>【市長】</p> <p>・必要であれば公民館を緊急避難場所にしても良いと思いますが、一番よく地域を理解している地元で相談していただき、災害の種類によって臨機応変に対応できると思いますので、また相談をしてほしいと思います。</p> <p>【桜樹公民館】</p> <p>・現在は、崖崩れ等の危険性があるため、実際は中川公民館へ行ってもらっています。地元の方の利便性を考え、災害の種類によって今後協議をしていきたいと思っています。</p>	<p>・河川の氾濫や土砂災害の危険地域なので、避難のタイミングが重要となってきます。また、災害の種類や程度によっては、鞍瀬小学校跡や桜樹公民館は危険地域に変わります。日頃から、早期避難の重要性など防災意識を高めるために、説明する場が必要です。今後、地元の要望があれば、市も出向いて説明します。</p>	・市民安全部
3	・現在、楠窪ではバスを廃止しよりあいタクシーをやってもらっているが、月2回と決められている。病院へ行くのが大変なため、いつでも乗れるようにしてほしい。	<p>【企画情報部長】</p> <p>・楠窪では、この4月から曜日を決めてタクシーを運行していますが、現在は利用がありません。病院の関係で使いづらいという意見は聞いていますが、いつでもというのは難しいため、登録している皆さんの都合を聞いて、少しでも利用しやすい形になるよう、相談させていただきます。</p>	—	・企画情報部
4	・集落で盗難等が発生しているため、防犯カメラの設置をお願いしたいが、どこへ相談すればよいか。集落への入り口は1本道のため、1台あれば不審者や車両等の確認ができると思う。	<p>【市民安全部長】</p> <p>・現在、市内にある防犯カメラのほとんどは、防犯協会が寄付を元に設置しているもので、それ以外では商店街のお店の人たちがお金を出し合い設置したり、市の施設も含め、施設の所有者が設置しているものもあります。防犯協会の予算の都合もあり、希望すればどこへでも設置してもらえるものではありませんが、現場を確認して、防犯協会や警察と相談させていただきます。</p>	<p>・西条西警察署で相談したところ、「千原地区からの盗難被害届が出ておらず、案件を承知していない」とのことです。「被害を受けた場合には、迅速に警察署(駐在所)へ届けていただきたい。また、千原地区は中川駐在所員が頻りにパトロールしている地域なので、不審者を見かけたら、すぐに通報をお願いしたい。なお、本署としても、駐在に事情を聴いて、防犯カメラの必要について判断したい。」とのこと。</p>	・市民安全部

市政懇談会(桜樹公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年7月17日(日)13:30~14:50

参加者：49名(市民 34名、職員 15名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
5	・イノシシやサル有害鳥獣が多く、作物ができない。高齢者が多く、網も難しいため、猟友会等による見回りを増やして駆除してほしい。特にサルは体が大きくなり人を恐れないため、怖くなってきている。	【農林水産部長】 ・平成26年にイノシシ51頭とサル10頭、27年にイノシシ34頭とサル13頭を駆除しています。有害鳥獣については、自己防衛と駆除の両方がセットにならないと効果が上がりません。駆除についてはサルとイノシシの成獣は1頭18,000円の補助を出していますが、今年度は駆除頭数を増やすため、臨時に有害鳥獣緊急捕獲事業を市で行うこととし、補助金をイノシシの成獣とシカで5,000円、そしてサルはなかなか撃ちづらいため10,000円上げることとしました。被害があれば農林水産部に言っていただくと、猟友会と協力して駆除していきます。防衛については、イノシシは市単独で電柵に1件50,000円までの補助を出します。また、愛媛大学と一緒に煙火の講習を実施する予定で、鞍瀬でも8月中には開催したいと考えていますので、そういう機会に意見やこの地域の状況を言ってもらい、この地域に効果がある防衛策を検討したいので、ぜひ参加をよろしくお願いします。	—	・農林水産部
6	・サルの駆除の情報があれば教えてほしい。銃での駆除は難しいため、他所では広い土地に天井や横に柵を作り、サルが開けてある入口から中に入れば入口が閉まり捕まえるという方法が実績を上げているという話をきいている。サルは人がいなくなるとすぐに出てくるため、対処が難しい。	【農林水産部長】 ・大きな檻については、サルだけでなくイノシシも含め、個体は何頭か入って捕らえるという研究がされているようですが、市でも愛媛大学と一緒に、この地域に合った駆除方法を考えていきたいと思っています。また個人では、細い竹で網を作り、かき付くと外側へ落ちて中へ入れないという対策をしているところもあります。そういったことの実際の効果を色々検証し、地域でも話し合いをして、何が効果的か検討していきたいと思っています。	—	・農林水産部
7	・臼坂の笹ヶ峠には堆肥の工場があり、悪臭がひどい。自治会長を通じて再三お願いしているが、なかなか改善されない。行政指導等できないか。 ・以前は小さかった堆肥工場が最近大きくなったが、地元で増築等の話もないため、どこから異臭がするのか分からなかった。工場長等に何度もお願いしたが、運搬時以外はなかなか改善されない。脱臭装置も設置しているが、作業中に入口を大きく開けているため効果が無く、県の保健所にも相談しているが、改善されないため地元は非常に迷惑している。	【丹原総合支所長】 ・支所からも会社に口頭で2回程度、指導はしていますが、なかなか改善されないところです。柑橘系の皮の処分をしており、産業廃棄物になるため、保健所の管轄になります。市からも保健所に改善されるように依頼したいと考えています。	・西条保健所は、「以前に2回現地指導を行ったが、指示内容が徹底されず改善に至っていない状況であるため、近日中に市職員も同行して立ち入り検査を行い、指導の徹底に努めたい」とのことでした。市としては、保健所と連携して改善を図りたいと考えています。	・丹原総合支所 ・生活環境部

市政懇談会(桜樹公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年7月17日(日)13:30～14:50

参加者：49名(市民 34名、職員 15名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
8	<p>・林道峰下影線は、災害で5年ほど通行できなかつたが、復旧工事も終わり、今年の本線の延長ができると聞いている。この林道は1本道なので、災害時には資材も出せなくなるが、楠窪余野線のように繋がっていれば、1カ所崩壊してもどちらにでも出られる利点がある。延長して下影まで行くのは遠いため、短距離である東温市の林道へ繋いでほしい。</p>	<p>【農林水産部長】 ・言われるように、片方しか抜けていない林道は、途中で災害が起きればそれより奥に入れなくなるため、両方から入れる林道が良いと思います。峰下影線は、現在の計画どおりであれば4年程度で計画の最終地点までは行きますが、林道は森林組合等からの要望もあるため、そういう要望もしっかり聞いていきたいと思っています。確かに地形からみると、東温市の林道に繋ぐ方が良いと思いますが、行政区が違うため東温市と協議する必要もあり、要望として森林組合等から上がってくれば、計画変更等の必要も出てきますので、要望があれば考えていきます。</p> <p>【市長】 ・この数年、林業、森林整備に力を入れています。県にも予算を組んでもらい、10年で約800ヘクタールの水源林の整備も進めています。またCLTの関係もあり、これから山にいろいろ手を入れていく準備を進めているため、その際には林道整備が不可欠です。東温市との連携等も含めて、要望には前向きに検討していきます。</p>	—	・農林水産部
9	<p>・臼坂に、以前は川西地区から国道へ出る主要道路であった農道があるが、県道の改修に伴い以前の道から約2メートル上げており、大きな側壁を造っている。現在大きくずれており危険なため、下の田へ入れなくなっている。農道の管理は改良区であるため、改修には地元負担が掛かるが、個人で払えるような事業費ではないため、解決策を検討してほしい。</p>	<p>【丹原総合支所長】 ・現地を確認して、担当課や改良区等と協議し、どこがどのような方法で改修するのか検討していきます。</p> <p>【市長】 ・これまでの経緯を、ひも解いて確認していく必要があります。</p> <p>【建設部長】 ・擁壁を造った際に、下の部分と上の部分を継いだ時のジョイントがうまくできてなくて、上半分が荷重を受けて、ズレたと思われます。</p>	<p>・丹原町土地改良区より発注者の愛媛県へ協議を行いました。既に工事から30年が経っており対応できないとの返答でした。市としては、愛媛県及び施工業者、丹原町土地改良区、地元などと今後の対応策について話し合っていきたいと思っています。</p>	・丹原総合支所 ・建設部
10	<p>・サルの被害について、花火をかなり打っているが慣れてしまい効果が薄い。追うだけでは効果がないため、捕獲をするようお願いしたい。</p>	<p>【市長】 ・以前にカラスの檻等は成功しませんでした。いろいろやってみないといけないと思います。要望がこれだけある以上、全国的な先進事例等も参考にしっかり検討し1日でも早く設置して、1頭からでも捕獲するようにやっていくべきです。</p>	<p>・サルの捕獲については、今年度から従来の捕獲奨励金に追加して、市単独の捕獲奨励金を実施し、サルに対しては1頭1万円の上乗せ補助を行うこととしており、捕獲活動の一層の推進を行っています。</p> <p>・さらに、丹原町臼坂地区では、今年4月より高月にてサル用くくり罠を丹原町猟友会の協力のもと設置しています。</p> <p>・また、丹原町寺尾地区では、愛媛県の事業により、サル用の大型捕獲檻を設置し、費用対効果等の検証を行うこととしており、これらの捕獲方法が有効であれば、市内に普及を図りたいと考えています。</p> <p>・今後も、地元自治会や猟友会、愛媛県等と協力し、檻による捕獲活動や積極的は追い払い活動など、サルをはじめとする有害鳥獣への対策を実施していきたいと思うので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>	・農林水産部
11	<p>・サルの被害防止策として、参考だが、ハウス用のL型パイプを使い、網を被せるように張って見たら少し効果があるようだ。威圧感があるから嫌がるのではという意見もあるため、材料代は少し掛かるが、やってみてほしい。</p>	<p>【市長】 ・ありがとうございました。また拝見させていただきます。</p>	—	・農林水産部